

εὐαγγέλιον

ユー・アンゲリオン

知っておきたいキリスト教のことば (176)

福音 ふくいん

「福音」とはグッドニュース、良い知らせのことです。旧約聖書にはたびたび、「良い知らせを伝える者」に関する預言がでています。

キリスト教では、その旧約における救いの啓示を完成させるためにイエス・キリストが遣わされて、「良い知らせ」を世界の人々に伝えたとされます。

イエス様はガリラヤで宣教を始めるときに、「神に福音を宣べ伝えました。そして「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われたのです。

その具体的な「良い知らせ(福音)」とは、イエス様が受肉し、わたしたちの間にこられたこと、わたしたちの罪を贖うために十字架につけられたこと、墓の中からよみがえり三日目に復活なされたこと、昇天なされたことなどです。すなわち神さまがわたしたちを救いの道に導かれたこと、これが「福音」なのです。

パウロは手紙の中で、「福音」について多く語ります。特にイエス様の十字架による福音はパウロの神学の肝であり、またプロテスタント教会の中心的な言葉となっています。

この「福音」が本当に「良き知らせ」となるには、それを受ける人の姿勢も大切です。その知らせを信仰によって受けるときに、その知らせは素晴らしい福音となるのです。

ちなみに福音を英語では gospel と訳します。古英語では godspell です。神さまが綴ったものという意味にもとれます。神さまのご計画によって、わたしたちは救いの枠組みに入れられました。そしてその「福音」を、わたしたちは世界に宣べ伝えていくように、求められているのです。

次回は「福音書」です。楽しみに。



「イエス・キリストの昇天」

アンドレア・マンテーニャ

(1431~1506年)

いかに美しいことか 山々を行き巡り、良い知らせを伝える者の足は。彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え 救いを告げ あなたの神は王となられた、と シオンに向かって呼ばれる。(イザヤ書 52章7節)

